

令和7年度 国立教育政策研究所教育研究公開シンポジウム

『これからの時代の社会基盤としての社会教育を考える ～ 今、なぜ社会教育なのか ～』

恵庭市教育委員会 藤野 真一郎

■自己紹介 ～ 社会教育との出会い ～

- 学生時代：先輩に聞いたら口をそろえて「社会教育って、何でもありだから」という返し…
- 恵庭市役所へ：「自治体職員として、地域づくりをやりたい！＝それって、社会教育だよな」

■社会教育主事になってみて…平成14年度～平成26年度

- 花と緑の課（おっ、社会教育できるじゃん） → 環境課（やっぱ社会教育できるじゃん）
 - 社会教育課（外から見ていたのと、実際身を置いてみるとでは、全然違うものだ）
 - ・（それまでの部署と比べて）社会教育主事としての裁量（自由度）の広さ
 - ・社会教育主事として発令を受けた今日からの自分と、昨日までの事務職の自分との違いはどこ！？（←社会教育主事の専門性って、なに！？いつも、もやもや）
 - ・税金を使っただけの社会教育(行政)って！？（絶えず頭から離れない）…そんな13年間

■防災担当者として（社会教育的なアプローチをしている自分）平成30年度～令和2年度

- ※平成30年9月6日/午前3時6分：北海道で初めて震度7を記録した胆振東部地震、
 - 全道が停電したブラックアウト、恵庭市（震度5強）でも7か所の避難所を開設

【胆振東部での教訓を踏まえて】

- 自助・共助・公助の構図は分かり易い
 - 公助（税金を投入して）：災害用備蓄資機材を揃える、職員の災害対応能力を高める等（行政の自己完結的な取組として、そんなに悩まないで済む）
 - 自助、共助の主体は、一人ひとりの市民であり、地域！！
 - 主体的力量の形成（意識の変容）を図るためには、まさに社会教育の論理（アプローチ）が必要
 - 社会教育的な悩み方（どうしたら意識の変容が図れるか！？）
 - 学びあう（お互いに影響を及ぼしあう・高めあう）関係づくりを持ち込む。

□例：防災学習会の取組

- 表の学習テーマ：「避難所とは何か！？」～地域主体の避難所運営～
（裏の本質テーマ）「この地域にとって、共助とは何だろう！？」
- 学習ツール(手段)：避難所の運営マニュアル作り（を通して、裏テーマに迫る）
- ゴール(目指す姿)：いざという時に行動が伴うように日頃から実践を積み重ねる地域へ
 - （災害弱者を地域で支えられる）日頃から顔の見える関係づくりへ
 - 「関係づくり」は、具体的取組（ときに行政の事業がきっかけに）
想いを共有した組織的な活動によって作られていく。
＝ 社会教育実践…それは行政の事業の域を超えた地域主体の取組
（そのように持っていく…それが難しい・専門性）



※ 地域は縦割りで物事を考えているわけではない。様々な課題が必ずしもそれぞれ別個に存在しているのではなく、地域においては重層的に絡み合っている、と実感。

■地域防災活動から地域(福祉)活動の創出(こぼれ出た地域活動)を狙って…

- 事業には目的がある → 事業の**成果** ~この成果をどう捉えるか、どう評価するか!?
- ◎社会教育(的)事業 ⇒ こぼれ出た地域活動に(評価すべき)価値があるのではないか!?
- ※(予期せぬ)こぼれ出た地域活動(=社会教育活動)の広がり
- そんな事象を社会教育主事時代に地域で数多く垣間見てきた

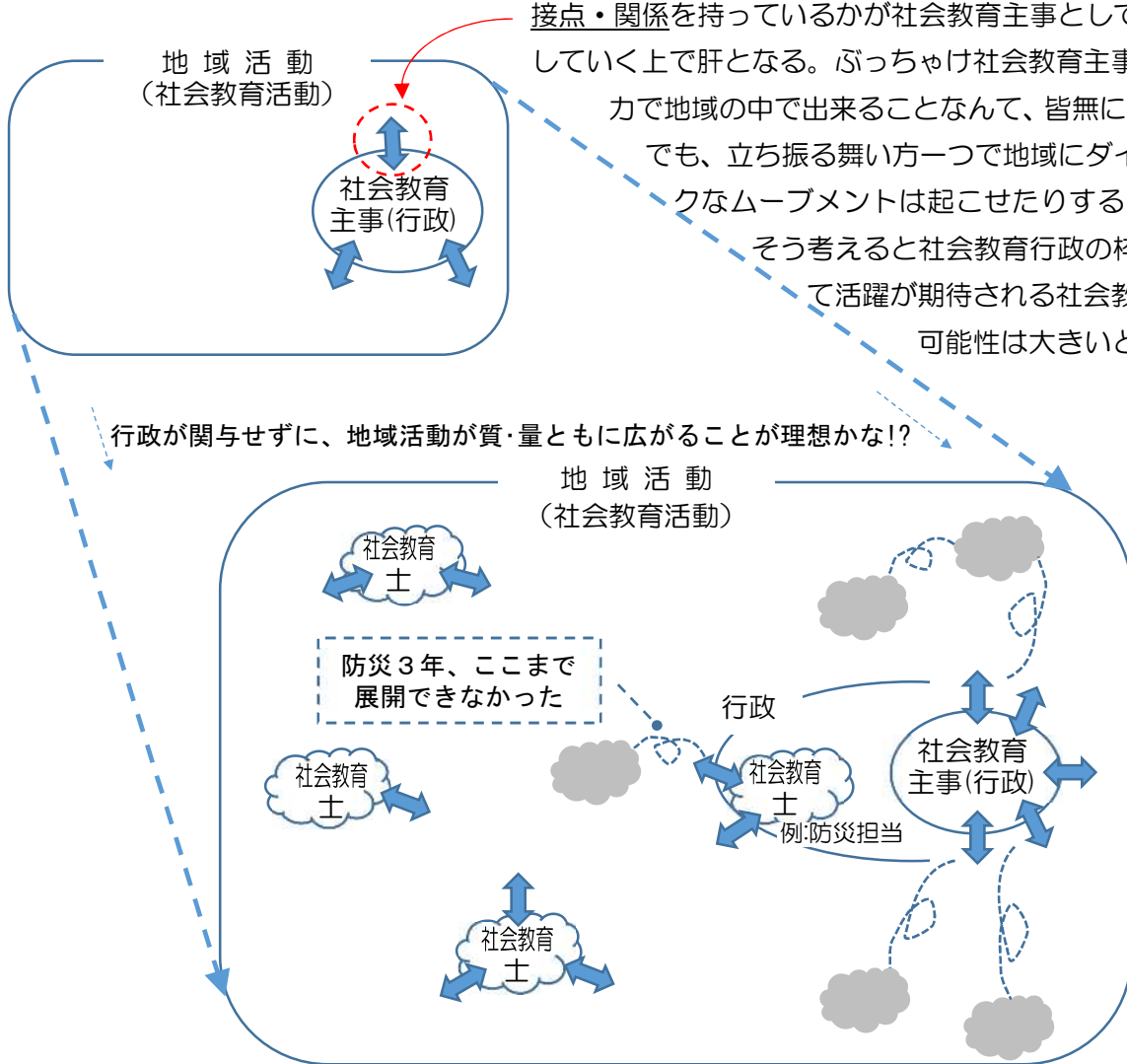


(きっかけとなる事業から偶発ではなく)意図的に地域活動が生み出せたら Good だね!!

- ◎そのためには、とにかく地域の人と語らうこと(地域の人言葉の中から「地域」が見える)
- それが無意識のうちに作戦タイムとなっている(この時間が既に協働のプロセス)
- ・地域で何が課題(困りごと)で、地域としてどうしていきたのか、どうありたいのか
- ・行政として、地域に求めていること(行政の施策…多くはお願い!?)もあったりする

- 社会教育行政がタッチしている社会教育の領域はちっぽけなもの。地域活動これすべからく社会教育活動と言え、社会教育主事(行政)は、地域(地域活動・社会教育活動)とどれだけ

接点・関係を持っているかが社会教育主事として仕事をしていく上で肝となる。ぶっちゃけ社会教育主事一人の力で地域の中で出来ることなんて、皆無に等しい。でも、立ち振る舞い方一つで地域にダイナミックなムーブメントは起こせたりすることも。そう考えると社会教育行政の枠を超えて活躍が期待される社会教育士の可能性は大きいと考える。



行政が関与せずに、地域活動が質・量ともに広がるのが理想かな!?

…社会教育主事(行政)・士がきっかけでこぼれ出た地域主体の社会教育活動(できれば偶発的ではなく、意図的に地域との協働での展開を理想として)

キーワード: 地域住民の関係づくり(地域活動のコネクト)、地域課題にアプローチ、学びあい